

どうする？どうなる？わたしたちのミサ 『ローマ・ミサ典礼書の総則(暫定版)』から学ぶ

1. はじめに

「祈りの法は信仰の法 (lex orandi, lex credendi)」: 教会が執り行う典礼は信じている事柄に影響を与え、また信じている内容は典礼に影響を与え続けている。

教皇ヨハネ・パウロ二世回勅『教会にいのちを与える聖体』 p.71, 52 項。

2. 『ローマ・ミサ典礼書』改訂の歩み

第2バチカン公会議(1962年～1965年)の『典礼憲章』: 典礼は単なる人間の行為ではなく、「キリストとそのからだである教会のわざ」。「典礼文と儀式が示している聖なるものが、より明白に表現されるように整え」、「すべての信者が、典礼の挙行への、充実した、意識的な、行動的な参加へ導かれ」、「神のことばの食卓がより豊かに信者に供えられるために、聖書の宝庫がより広く開かれ」必要があると宣言した。→1970年『ローマ・ミサ典礼書』ラテン語規範版第1版→1975年第2版→2002年ラテン語規範版第3版(本日は、2004年5月に邦訳された『ローマ・ミサ典礼書の総則(暫定版)』(以下、『総則』と略記)を利用。p.7「本書を使用するにあたって」

3. どこがどのように変わったのか

① 共同体の一致

p.52,91 項。p.54,95 項。p.54,96 項。p.34,47 項。p.48,83 項。p.114,321 項。p.31,42 項 (p.54,96 項参照)。p.104,294 項。

② キリストに結ばれる

p.14,2 項。p.47,79 項 f。p.105,296 項。p.106,303 項。P.105,298 項。p.34,49 項。p.51,90 項 d。p.66,139 項。p.66,140 項。p.71,162 項。P.70,160 項。
p.107,306 項。p.108,310 項。P.35,50 項以下。p.107,307 項。p.107,305 項。

③ 沈黙による積極的行動的参加

p.33,45 項。p.37,55 項。p.38,56 項。p.49,84 項。p.33,45 項。

④ 歌による積極的行動的参加

p.30,39-41 項。p.30,40 項。p.35,52 項。p.36,53 項。p.63,126 項。p.39,61 項。p.40,63 項 c。p.42,68 項。p.83,216 項。p.46,79 項 b。

⑤ 聖ひつ

「ミサ後に聖体を保存するようになった本来の目的は、最後の糧としての聖体拝領のためである」『カトリック儀式書 ミサ以外の時の聖体拝領と聖体礼拝』。p.111,315 項。p.49,85 項。p.48,83 項。p.114,321 項。

4. むすび

「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」(ルカ 9・52)。